

《I 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標》

【建学の精神、教育理念について】

(1) 建学の精神・教育理念を記述し、その意味するところ及び建学の精神・教育理念が生まれた事情や背景をできるだけ簡潔に記述して下さい。

建学の精神と教育理念については、「学生便覧」からの抜粋して示す。そのため、他の部分の文体とは異なっている。

学則第1条の「本学はキリスト教精神により、教育基本法の趣旨に基づき」は、本学の教育理念について述べている箇所です。特に冒頭の「キリスト教精神により」の箇所は、本学の建学の理念・精神として継承されてきているものです。

このキリスト教精神による教育について、創立者細川泰子先生は著書『教育は愛なり』で次のように述べております。

「盛岡大学は、キリストの精神を持って教養を身につけ、神の愛の高さ、深さ、広さを知り、人類愛に燃える奉仕のでき得る謙虚な人格の育成を重点にしております。時代は変転いたしますが、この精神はいかなる時代においても変わることがありません。教師と学生との出会いを重んじ、常に尊敬と信頼を深めることにつとめます。」

本学ではキリスト教精神を表現する言葉として「愛と奉仕」という言葉を掲げてきました。これはキリスト教のみならず人間、ヒューマンイズムの考え方からしても大事な概念です。しかし、こうした概念を成り立たせるには、個々人がお互いに相手を認められるように自立しなければなりません。それをさらに教育という形につなげていくときに、「対話」ということが重要になってきます。

教員と学生との人間関係、人と人との話し合いは対話であるし、教えるという形も対話、お互いのコミュニケーションはもちろん対話であるし、神と向き合うという形の対話もあるでしょう。幅広い対話の概念を大学のスローガンとすることは、非常に古くて歴史のある言葉が、今新しい問題となって生きてきたことを意味しています。

20世紀の後半20年間の社会的な大きな混乱状況を経て、現代社会が求めているものは、人間的な心がわかる人、人の心がわかる人、互いに理解し合いコミュニケーションを作ることができる人であり、それこそが21世紀の社会に求められる人間像であると言えます。

しかし、人間ひとりひとりが個性的だといっても、自分の考えていることを何も表現できなければはじまりません。まず自分の言葉をもって自己表現ができる学生が、社会が求める人材にも直結します。まず自分を作りあげて世の中に自分をアピールしていくこと、そして社会が求めるものを理解して、社会に貢献していくことです。「愛と奉仕」ということは、そこにつながってきます。つまり学生自身が人間形成をしっかりする、本当の意味で人間を作ることができれば非常に意義のある大学教育になります。

キリスト教精神に基づく教育は、本学の建学の精神として受け継がれています。具体的には、愛と奉仕の心を培うことを意味し、愛と奉仕の心を培いながら、円満な人格の形成に努めることです。愛と奉仕の心に基づく教育によって、心身ともに健康な人材を育成することこそ、本学の使命と言えます。

(2) 現在は建学の精神・教育理念をどのような形や方法で学生や教職員に知らせているかを記述して下さい。

上記の建学の精神と教育理念を周知するために、カリキュラムの中に「キリスト教概論」を必修科目として開講している。さらに毎週、礼拝の時間を設け、礼拝に参加するなかで、建学の精神・教育理念・キリスト教精神を理解してもらうことを目的としている。礼拝には、1年生のほとんど全員が出席している。併せて、学校行事としてクリスマス礼拝等を行い、キリスト教の教えを学ぶ機会を設けている。これらの礼拝は、宗教主任が進行し、学長を始めとして、学生・教職員が自由に参加している。(学生の実態については、《V学生支援》の【入学に関する支援について】の(1)も参照)

【教育目的・教育目標について】

(1) 多くの短期大学が複数の学科等を設置しています。その場合、それぞれの学科等では建学の精神や教育理念から導き出された、より具体的な教育目的や教育目標を掲げているものと思います(例えば、設置認可の際に「設置の趣旨」等で示されたもの等)。ここでは、全学的に示された教育目的や教育目標ならびにそれぞれの学科等が設定している具体的な教育目的や教育目標を記述して下さい。

本学の各学科では、建学の精神、教育理念に基づいて教育目的・目標を設定し、実践に努めている。

①食物栄養科

食物栄養科の教育目的は、学則の第1条に示すとおり「食物栄養科に於ては、食物学に関する学術を中心とし、教員としての資質の向上育成を図り、栄養士法に基づく履修科目を修得し、以って食生活の改善及びその指導に貢献することを目的とする。」ことである。この目的達成のために、栄養士資格取得のためのカリキュラムを中心に、「フードスペシャリスト受験資格」、「栄養教諭二種免許状」等も取得できるカリキュラムを配置し、食物と健康の関わりについて、科学的な基礎を学び、地域社会で健康づくりを進める深い専門性と指導力を備えた栄養士の養成に努めている。

具体的には、がん・心臓病・脳卒中などの生活習慣病の予防や高齢化社会における食を通じた健康づくり・生活の質の向上等、地域の健康づくりの担い手として貢献できる人材を地域社会に送り出すことが教育目標である。

②幼児教育科

幼児教育科の教育目的は、同じく学則の第1条に示すとおり「幼児教育科に於ては、保育に関する学術を中心とし、幼児の教育者としての資質の向上育成を図り、児童福祉施設職員としての保育士に必要な教育に関する基礎的知識を修得し、教育的思考のもとに実践的な技能を養い、自己の教育活動を合理的ならしめ科学研究を身につけさせることを目的とする。」ことである。この目的達成のため、「幼稚園教諭二種免許状」「保育士資格」「児童厚生員二級資格」等、免許・資格を取得できるカリキュラムを配置し、

幼児期の教育者として、そして児童福祉施設職員としての保育士として、教育・福祉に貢献できる人材養成に努めている。

具体的には、乳幼児期の保育・教育・特別支援教育について、各教科で実践的な内容を学び、各実習を通して検証し、実践力を高める。そして地域における子育てを支える担い手、さらには障害を持った子ども達等への支援の担い手を輩出することを教育の目標としている。

(2) それぞれの学科等の教育目的や教育目標を、現在はどういう方法で学生や教職員に周知し、またどのような方法で学外に公表しているかを記述して下さい。

本学の教育目的・目標は、学生便覧や学校案内に掲載し、学生に対しては、新入生オリエンテーション、新入生特別研修等で周知している。また、教職員に対しては、年二回の教職員研修会や学生募集の事前打合せ会等で、その都度確認している。

学外に対しては、学校案内、本学ホームページ等で公表している。

【定期的な点検等について】

(1) 建学の精神や教育理念の解釈の見直し、教育目的や教育目標の点検が、定期的に行われている場合はその概要を記述して下さい。また点検を行う組織、手続き等についても記述して下さい。

建学の精神や教育理念の解釈の見直しは、学長・短大部長・各学科長・学生部次長・各センター副所長・事務局次長で構成される運営委員会で年度当初に検討している。

教育目的や教育目標の検討と見直しは、全専任教員が所属する各種委員会、各学科会等で行っている。また、教育目的と教育目標の点検の集大成として、4～5年ごとに自己点検・評価を行い報告書を作成している。なお、自己点検・評価報告書は、自己評価委員会が作成をしている。

(2) 建学の精神や教育理念の解釈の見直し、教育目的や教育目標の点検及びそれらを学生や教職員に周知する施策等の実施について、理事会または短期大学教授会がどのように関与しているかを記述して下さい。

建学の精神や教育理念の解釈の見直しは、運営委員会で検討した内容を、教授会で審議し、その結果を理事会に上申している。見直した結果は、広報誌や学生便覧に掲載し、学生や教職員に周知している。

各種委員会や各学科会で見直された教育目的や教育目標は、全専任教員が参加する教授会で審議している。必要の都度、理事会に上申し、再度検討が必要な場合には、各種委員会、各学科会で再検討し、再度教授会で審議する。変更された内容は、学生にはガイダン

スや掲示、印刷物等、その都度必要な手段を講じて周知する。教職員には、教授会資料等で周知している。

以上のように、全学生、教職員に見直された内容が、周知されるように努めている。